



国立大学法人

筑波技術大学



聴覚障害者、
視覚障害者のための
国立大学です。

日本でただ一つの

伝わる大学
伝える大学



令和2年度職員募集案内

INDEX

学長メッセージ	1
筑波技術大学について	2
事務組織と業務内容	2
職員インタビュー	4
教育研究組織について	8
勤務条件等	9
キャンパスの所在地	11
アクセス	12
採用担当係から一言	13
MEMO	13

学長メッセージ



国立大学法人筑波技術大学 第4代学長 石原 保志

筑波技術大学は、聴覚障害者、視覚障害者のための高等教育機関として1987年に三年制短期大学として設立され、2005年に四年制大学となり現在に至っております。教育に関しては、少人数教育の下、多様な発達の特性の学生の実態に即した学修者本位の教育が、授業だけでなく学生生活の様々な場面で展開されています。

近年、大学に進学する障害者の数は増加の一途を辿っており、障害学生が学ぶ高等教育機関では合理的配慮を具現化する方策が検討、実施されるようになってきました。このような社会的変化の中で、筑波技術大学の教育における強みは何か。それは、他大学が障害学生の学修、学生生活における活動参加上の不利益を補うことを、いわゆる障害学生支援と位置づけているのに対して、筑波技術大学は障害を補償するだけでなく、学生の潜在能力を顕在化させ、知の基盤となる情報を意図的に付加するといった“教育的支援”を行っているということです。聴覚や視覚に障害がある学生に情報を確実に伝達する、情報を知識として吸収し多分野の知識を統合する、そして知識を知恵に昇華させていくという、教育の本質的役割あるいは機能を、筑波技術大学では特に意識して実践しています。この実践を通して培われた知見は、本学の研究を通して社会に公開されており、また本学が中核となって行っている他大学の障害学生支援に役立てられています。

2019年度から開始した社会人障害者を対象としたリカレント講座では、従前の卒業生対象講座で得られたノウハウを基に、学校卒業後の障害者全般の生涯学習のニーズに応えていくとともに、高大連携事業及び企業等と連携した事業をいっそう充実させることで、理念にとどまらない実質的なインクルーシブ社会の実現に貢献しています。

最後に、聴覚、視覚障害者のために創られた我が国唯一の国立大学法人である筑波技術大学の職員として、みなさんとともに働くことができる日を楽しみにしています。

筑波技術大学について

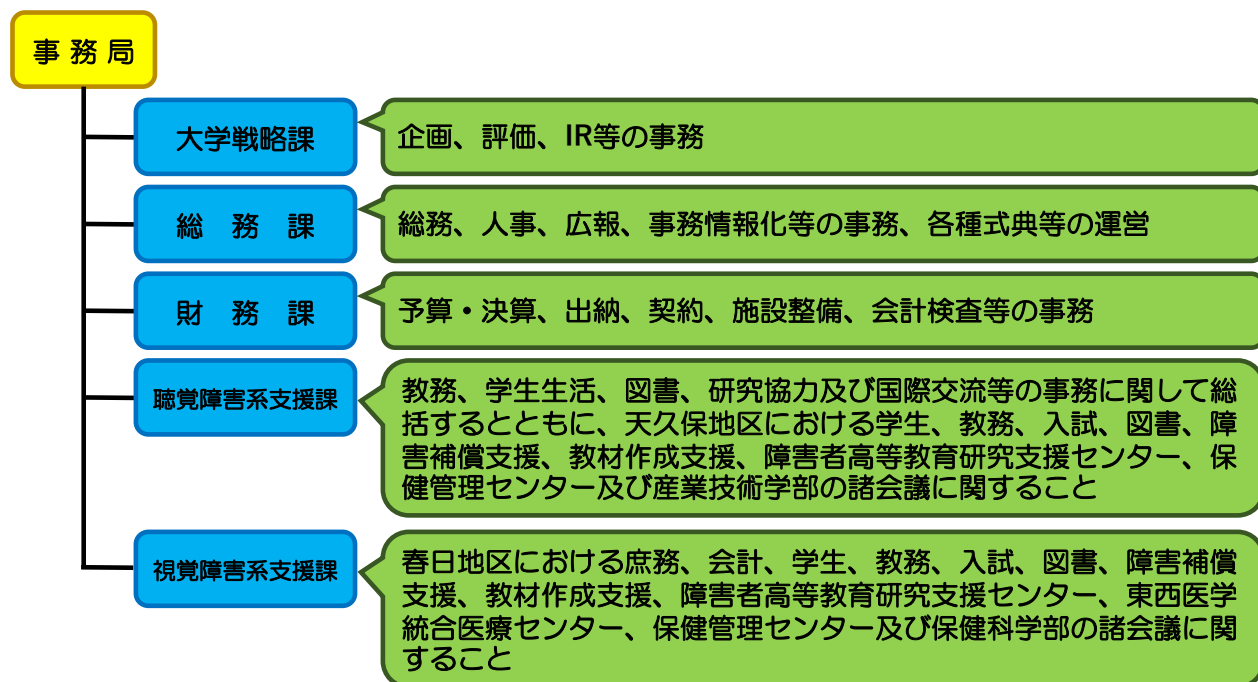
筑波技術大学は、聴覚・視覚障害者のための我が国唯一の高等教育機関として、これらの知識基盤社会に対応するため、個々の学生の障害特性に配慮した教育を通じて、幅広い教養と専門的、応用的能力をもつ専門職業人を養成し、両障害者が社会的自立を果たし自ら障害を持つリーダーとして社会貢献できる人材の育成を図るとともに、新しい教育方法の研究と実践を通して国内外の障害者教育の発展に資することを基本的な目標としています。

この基本的な目標を踏まえ、高等教育の内容に関わる各専門分野の研究の推進を図るとともに、最新の科学技術を利用して聴覚・視覚の障害を補償する教育方法・システム等を開発し情報授受のバリアのない教育環境の構築に努めています。

また、聴覚・視覚障害学生を受け入れている他大学等に対する支援や、世界各国の高等教育機関との障害者に係る教育研究に関する国際交流活動等を推進し、さらに、東洋医学と西洋医学を統合した教育研究を推進するとともに、特色ある医療活動を通じて地域医療に貢献することを目指しています。

事務組織と業務内容

本学は、職員数も少なく小さな大学ですが、業務内容は、総合大学や他大学等と比べても変わりません。1つの部署において、様々な業務に携わり学ぶことができるのは筑波技術大学の魅力の1つです。



詳細は、次ページ以降の職員インタビューをご覧ください。なお、職員インタビューにおいては、令和元年度以前に撮影した写真も掲載しています。

大学戦略課

現在担当している業務は何ですか？

私は、大学戦略課評価・IR係で主に評価を担当しております。大学が行わなければならない評価として、国立大学法人評価（毎年度、国立大学法人評価委員会が実施する評価）や認証評価（7年に一度、文部科学大臣の認証を受けた者が実施する評価）があります。評価の受審にあたり、本学が実施してきた教育や研究等に関する成果をまとめ、評価書を作成する業務を行っております。評価書作成を通して、本学の強みや課題が明確となり、本学の活動全体に対する理解を深めることができましたと感じております。



平成23年4月採用 評価・IR係

筑波技術大学の魅力は何ですか？

本学は、事務職員数が約70名であり、他大学と比べてとても小規模な国立大学法人です。そのため、一人ひとりが幅広い業務を担当しており、多様な業務を経験することができます。幅広い業務の経験により、大学に関する様々な知見を身につけられることが、本学の魅力の一つだと思います。



育児休業中はどのように過ごしていましたか。

私は、平成28年10月～平成29年3月までの半年間、育児休業を取得しました。育児休業の間は、長女の成長を間近で感じることができ、とても貴重な時間を過ごせたと思います。職場へは、妻の妊娠の報告と併せて、育児休業を取得したい旨を相談しました。私の育児休業中は、派遣職員を雇用していただきました。また、妻が仕事に復帰していたこと、私は育児休業中も雇用保険から給付金が出ていたことから、経済面でも困ることはありませんでした。本学を含め国立大学法人等の機関は育児休業が取得しやすい環境にあると思います。



平成21年6月採用 専門職員(総務・広報)

現在担当している業務は何ですか？

私は現在、総務課で総務と広報を担当しています。総務では、主に法人会議のとりまとめや、個人情報保護に関すること、他機関からの照会や通知を学内に周知するなど、幅広く様々な業務を行っています。広報では、より多くの方に本学を知っていただけるよう、ホームページやSNSの編集、大学概要等の冊子を発行しています。

仕事を進める上で、心掛けていることはありますか？

上司や部下との「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」を大切にしています。1人で仕事を進めていくことはできませんので、より多くの人を巻き込み、適切な判断をするためには、仕事のみならず、普段からのコミュニケーションも重要です。話しやすい、相談しやすい雰囲気をつくることも意識しています。

筑波技術大学の魅力は何ですか？

私の他にも子育て中の職員が多数いますし、産休、育休を取得中の職員もいます。産前・産後休暇や育児休業はもちろんのこと、仕事に復帰後は時短勤務や子の看護休暇を取得できます。これらの制度に支えられ、ライフステージが変化しても仕事を続けていける職場だと思います。

仕事と家庭の両立の秘訣は何ですか？

小学生2人の子育てをしながら働いています。両立していると自信をもって言えませんが、なんといっても職場の皆さんが状況を理解し、支えてくださっていることで続けることができていると思います。帰宅から就寝までは毎日バタバタしていますが、自動調理家電や食洗機を利用して家事の負担を減らし、家族で過ごす時間を確保しています。こどもたちの笑顔が仕事を頑張る原動力です。





平成30年1月採用 予算・決算係

現在担当している業務は何ですか？

私は現在、財務課予算・決算係で主に予算を担当しております。数字を扱う部署ですので、学生と直接関わることは少ないですが、予算・決算を通して大学全体を把握することができます。学内でどのような取り組みが行われているのか、大学でどのようなプロジェクトが進行しているのか、先生方がどのような研究を行っているのかなど、予算・決算係だからこそわかることもあります。大学運営の根幹に関われるこの業務に魅力を感じています。

国立大学法人等を就職先に選んだ理由は？

私は、筑波技術大学に採用される前は民間企業に勤務していました。その中で自分の大学生活が大変充実したものだだったと実感したと同時に、大学運営に関われる仕事に興味を持ちました。前職での知識や経験を活かせる場もあると感じましたし、その他にも幅広い業務に携われることで、自分自身の知識や考え方を深められると思いました。様々な経験をし、大学や学生に還元できる職員になれるよう勤めたいです。

職場の雰囲気を教えて下さい。

職員数が少ない大学だからこそ、課内・係内の雰囲気は良く気軽に質問や相談ができる環境だと思います。私が現在の係に配属された時も、気軽に議論に参加できましたし、私の意見に対しても真剣かつ丁寧に受け答えをしてもらい仕事に馴染むことができました。また、1年目から責任ある仕事を任せてもらえたり、自分の意見を求められたりすることも多々ありますので、やりがいもあり充実した日々を過ごしています。



聴覚障害系支援課

現在担当している業務は何ですか？

聴覚障害系支援課教務係で、主に入学試験関係、学生募集関係の担当をしています。入学試験関係は、主に、学生募集要項等の作成、出願書類の受付、入学試験の運営等の業務をしています。入学試験はミスが許されないため、責任を感じる仕事ではありますが、大きなトラブルなく無事に終わられたときの達成感はひとしおです。また、学生募集関係では、大学説明会等の会場設営や受付、運営のサポート等の業務をしています。大学説明会等のサポートを通して、本学を志願する学生の一助を担えることにやりがいを感じます。



平成30年4月採用 教務係

筑波技術大学の魅力は何ですか？

他大学に比べて教職員が少人数であるため、顔と名前をすぐに覚えることができ、仕事での連携がしやすいところです。また、学生との距離が近いところも魅力です。業務終了後に先生、学生を交えてボードゲームをしたり、オープンキャンパスの打ち上げで交流をしたりしています。学生との交流があると、仕事のモチベーションを保てますし、手話の勉強にもなるため、とても有意義な時間だと感じています。

業務終了後や休日はどのように過ごしていますか？

業務終了後はジムに行って運動をしています。事務職はパソコン前での作業がほとんどで、身体を動かす機会があまりないため、ジムに行くことで気分転換を図っています。休日は、家でゆっくりしたり、東京へ遊びに行ったり友達に会ったりしています。（最近は新型コロナウイルスの影響もあり家で過ごすことが多いですが…）業務終了後や休日に自分の時間をとれることも魅力だと感じます。



視覚障害系支援課

現在担当している業務は何ですか？

視覚障害系支援課学生係において、学生支援に係る業務を担当しています。学生支援業務には、授業料免除、奨学金、就職支援、国家試験、学園祭、学生寄宿舍に関すること等があります。学生と直接向き合うことが多く、きめ細かな対応ができるよう、情報共有・連携が大切だと考えています。主には、これらの係内業務の調整役として業務にあたっています。



平成4年4月採用 学生係長

仕事と家庭の両立の秘訣はなんですか？

3人の子育て真っ最中です。本学では、産前・産後休暇はもちろんのこと、育児休業取得についても職場の理解が十分にあります。また、「子の看護」休暇の制度もあり、子育て中にはよくある子供の急な病気での休暇も取得しやすい環境が整っています。仕事と家庭の両立ができているとは自信をもっては言えませんが、職場の皆さんの理解、家族の協力で仕事を続けて行くことができているのではないかと思います。それと、自分自身では、仕事にメリハリを付けることを心掛けています。

受験生へメッセージをお願いします。

本学は、規模の小さい大学です。私が勤務する春日キャンパスには、約150名の学生が在籍しており、知らない学生はいないというくらい学生との距離が近いことが学生担当としては魅力の一つだと思います。また、小規模大学ですので、業務にあたっては、一人一人に幅広い知識が必要になります。いつまでたっても日々勉強ですが、やりがいを感じることも多々です。本学で一緒に仕事をしてみませんか！



教育研究組織について

産業技術学部

聴覚障害者を対象とする高等教育機関として、「情報処理」「ものづくり」「生活環境創り」を通して社会に参画・貢献できる専門業人の育成を図ります。また、各専門分野の研究及び教育方法・機器等の開発により教育の改善に取り組みます。

産業情報学科、総合デザイン学科



保健科学部

視覚障害者を対象とする高等教育機関として、技術革新や情報化、国際化が進む社会にあって、それらの変化に柔軟に対応できる専門的医療技術者及び情報技術者の養成を目指すとともに、健康や福祉に貢献できる専門家を育成します。

保健学科（鍼灸学専攻、理学療法学専攻）、
情報システム学科



大学院技術科学研究科（修士課程）

大学院技術科学研究科は、聴覚・視覚障害者のための大学院として、障害がありながらも産業技術や医療技術に関するより高度で専門的な知識・技術、応用能力、研究能力を備え、企業や医療現場などの要請に積極的に応え貢献できる専門技術者・研究者・指導者を養成するとともに、地域社会や職場において聴覚・視覚障害者のリーダーとして活躍できる人材を育成します。

産業技術学専攻、保健科学専攻、
情報アクセシビリティ専攻



障害者高等教育研究支援センター

障害者高等教育研究支援センターは障害者基礎教育研究部と障害者支援研究部を持ち、教養教育の編成と実践を行うとともに、障害補償システムの研究・開発及び障害者の能力開発に関する研究を進めています。また、学内支援にとどまらず、他大学に学ぶ聴覚及び視覚に障害のある学生に対する支援にも取り組んでいます。



勤務条件等

1. 給 与

- (1) 初任給（月額）：182,200 円（学歴、職歴等によりこの額より高くなることもあります。）
- (2) 期末・勤勉手当（ボーナス）：6 月、12 月の年 2 回
- (3) 諸手当：扶養手当、住居手当、通勤手当等

2. 勤務時間等

- (1) 8 時 30 分から 17 時 15 分（昼休み：12 時から 13 時）
- (2) 休日：土、日、祝日、年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）
- (3) 有給休暇：年次休暇、特別休暇（リフレッシュ休暇、結婚、忌引、子の看護、介護等）
- (4) 育児休業、介護休業、自己啓発休業等
- (5) その他：試用期間（6 か月）、夏季一斉休業、育児のための短時間勤務制度

3. 宿 舎

- ・つくば駅（つくばエクスプレス）から徒歩約 15 分の場所に宿舎があります。
（※大学からは、車で約 10 分。）

4. 健康管理

- ・天久保、春日両キャンパスにそれぞれ、看護師が常駐し健康に関する相談に対応しております。また、非常勤のカウンセラーを配置し、教職員の心のケアにも配慮しています。
- ・春日キャンパスにある「保健科学部附属東西医学統合医療センター」では内科、整形外科等の西洋医療に加え、漢方、鍼・灸といった東洋医療を受けることができます。

5. 能力開発

- ・本学では、聴覚及び視覚に障害のある学生や教員と円滑なコミュニケーションが図れるよう聴覚障害者支援研修並びに視覚障害者支援研修を実施しています。
- また、若手職員の人材育成にも力を入れており、各研修会への参加、他機関との比較・調査のための派遣研修など、さまざまなプログラムを実施しています。



聴覚障害者支援研修の様子

手話に関する基礎知識の他、実際に業務で想定される学生との会話（手話）について学びます。

視覚障害者支援研修の様子

点字の仕組みや読み方、点字タイプライターの使用方法などについて学びます。



相談員傾聴スキルアップ研修の様子

学生及び教職員の相談窓口である相談員が実際に相談を受けた場合を想定したロールプレイングを通じて対応方法などについて学びます。

6. 福利厚生施設

- ・天久保、春日両キャンパスにグラウンド、体育館、トレーニングルーム、テニスコート、食堂等があり、職員も利用することができます。
- また、職員の健康増進を図るとともに、職員相互の親睦を深めることを目的として、ボウリング大会等のレクリエーションを行っています。

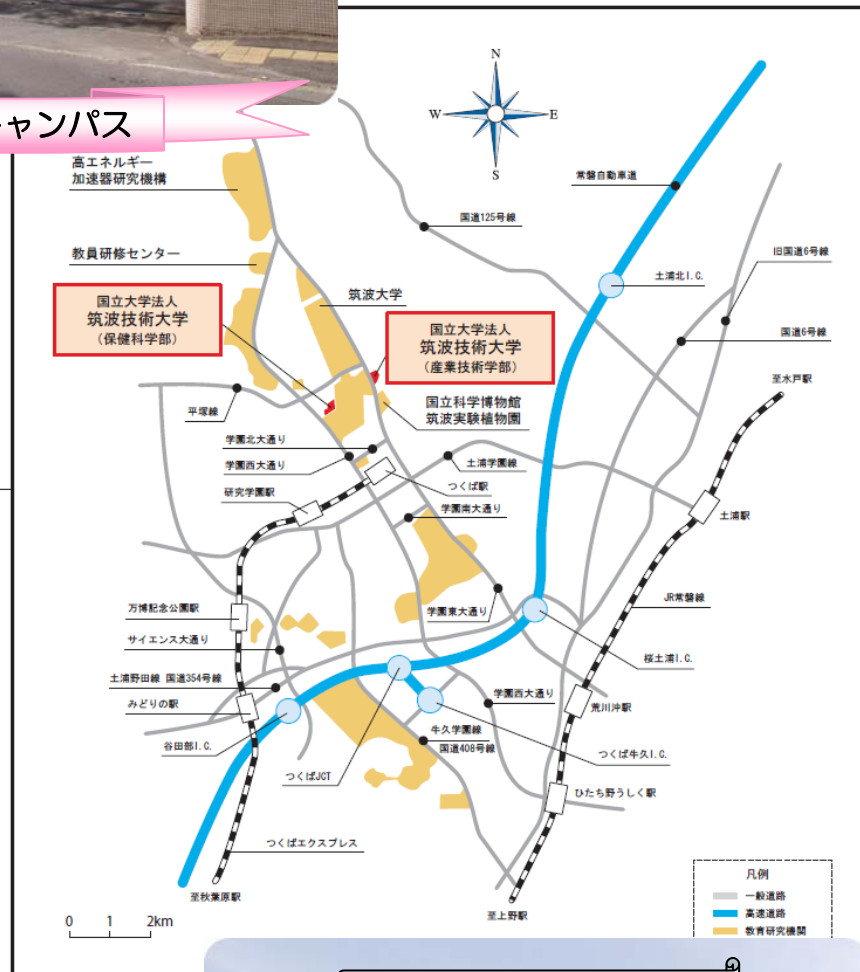


キャンパスの所在地

保健科学部



春日キャンパス

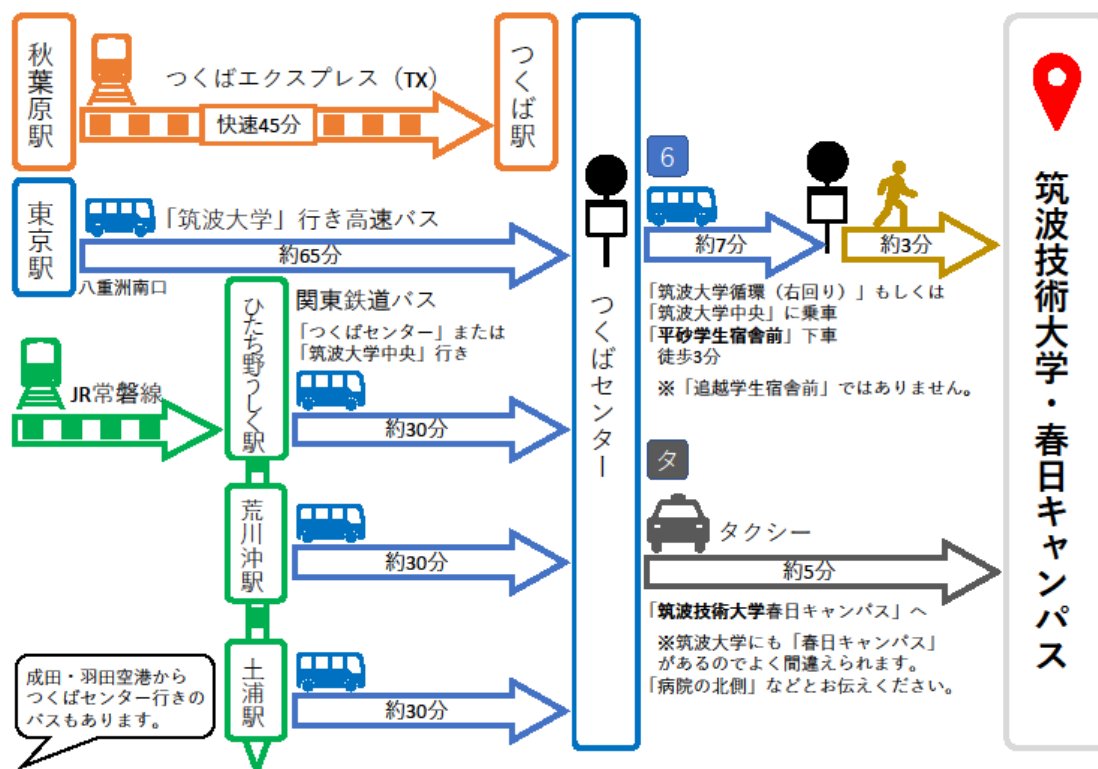
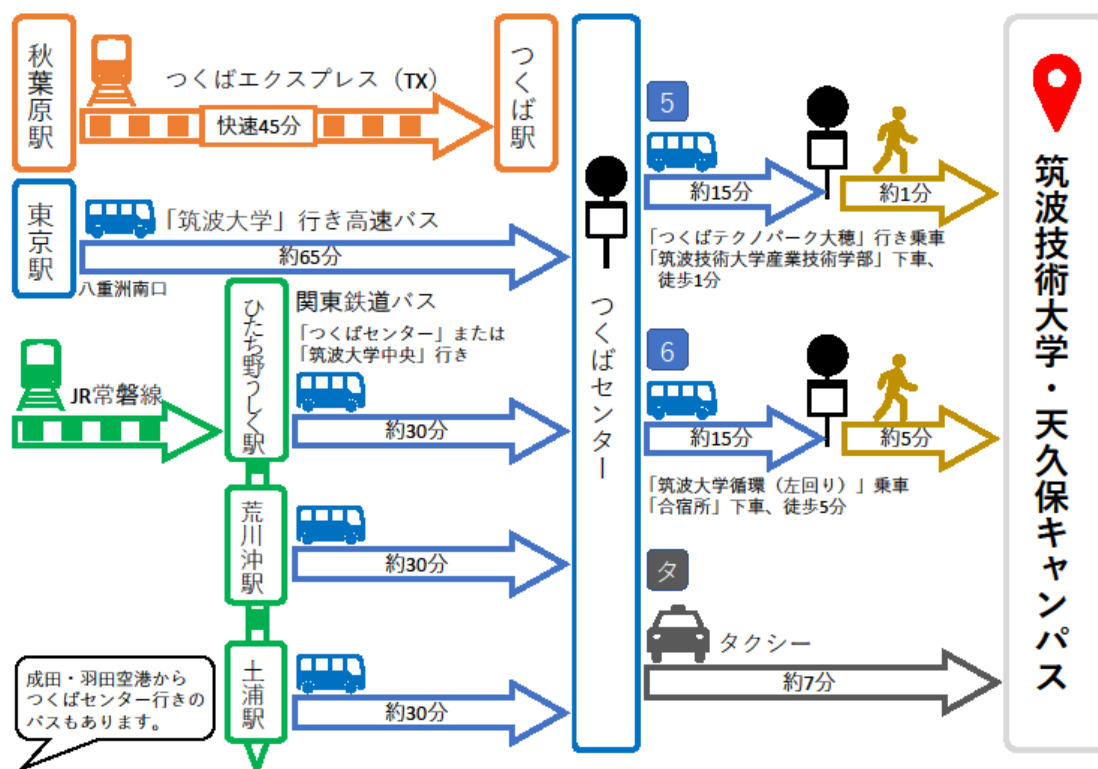


産業技術学部



天久保キャンパス

アクセス



採用担当係から一言

皆さんは筑波技術大学についてどれくらいご存知でしょうか。

「試験を受験するまでよく知らなかった」という方もいらっしゃるかもしれません。

本学は聴覚及び視覚に障害を持った学生を、社会に貢献できる一員として養成するために設置された教育機関です。

毎年多くの学生が本学で成長し、自分の可能性を高めて旅立っていきます。多くの人材を社会へ送り出し続けていることは本学の理念であり誇りです。もちろんこれ以外にも本学の社会的需要や役割は数多くあります。

これらの社会的要求の数々をやり遂げていくには、若さと活力に満ちた皆さんの助力が必要不可欠です。

筑波技術大学は皆さんの能力を十分に発揮できるフィールドを用意してお待ちしております。

MEMO

[illegible]



国立大学法人

筑波技術大学

National University Corporation Tsukuba University of Technology

《採用担当》

筑波技術大学 総務課人事係

〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15

TEL:029-858-9308, 9309

FAX:029-858-9312

E-Mail: jijinji@ad.tsukuba-tech.ac.jp

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/>